

『学校力向上に関する総合実践事業』 コーナー その8

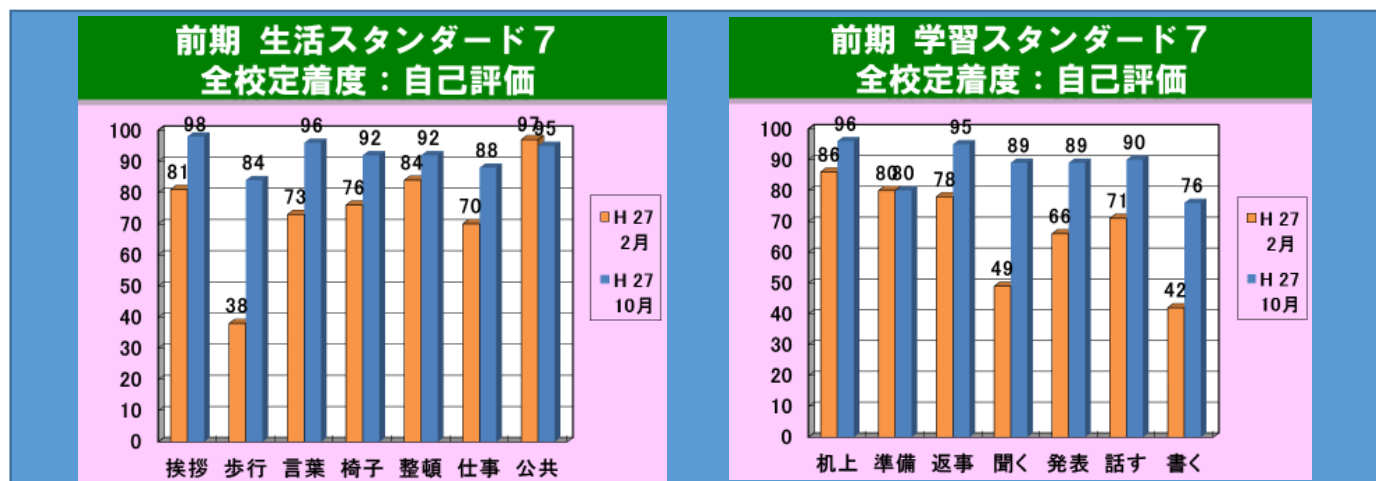
今月は、「発達の段階を踏まえた全学級における学習規律・生活規律の統一及び徹底」について紹介いたします。

本校では昨年度より、児童の内面の充実を図りながら、「笑顔・習慣・学び合い」を実現するため、全校で統一した生活・学習のスタンダードの定着を目指し、取組を継続してきています。4月22日（火）の全国学力・学習状況調査児童質問紙の結果では、下表に示した項目で全国平均を上回っておりました。

質 問 事 項	本 校	全 国
・学校に行くのは楽しいですか	73.3%	55.3%
・学校のきまりは守っていますか	53.3%	41.7%
・人の気持ちが分かる人間になりたいですか	73.3%	72.1%
・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか	100.0%	81.8%
・人の役に立つ人間になりたいとおもいますか	80.0%	71.6%

落ち着いた学級づくりを継続するため、日常においては、生活・学習のスタンダードの定着のために、改めて生活スタンダード7・学習スタンダード7として指導の徹底に努めました。

確実な定着を目指し、80%以上の定着率を数値目標としました。毎週金曜日に振り返りをし、生活面では、「廊下の歩き方」「言葉の使い方」等の結果を踏まえ、未定着の内容については重点的に指導の継続に努めました。また、学習面では、「聞く」「話す」等の定着について、「教えて考えさせる」授業づくりを通して、その定着に努めてきました。生活スタンダード7・学習スタンダード7の徹底を学年ごとに継続した結果、下図にあるようにほとんどの項目で目標値（80%）を超えることができました。



さらに、本校では国語と算数において、日常の授業が子どもたちにとって「分かりやすい」ものになっているか検証するために、児童アンケートを実施しています。

前期の児童による自己評価の結果で、目標値（80%）を超えることができました。しかし、「授業が分かりづらい」と答えている児童もおります。全ての児童が、学び合う喜びを味わうことができるよう、よりよい授業づくりに努めます。

今後も、落ち着いて学習・生活できる環境を整え、生き生きと学校生活を送ることができるよう努めます。

